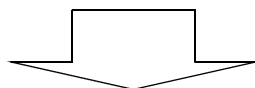


## 【中学校 数学】

<b>数学A</b> (知識)	<p>□成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 分数の乗法の計算をすること</li><li>• 正の数と負の数の範囲で絶対値の意味を理解すること</li><li>• 整式の加法と減法の計算をすること</li><li>• 与えられた投影図から空間図形を読み取ること</li></ul> <p>■課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 中央値の意味を理解すること</li><li>• 関数関係の意味を理解すること</li><li>• 証明の意義について理解すること</li><li>• 回転移動の意味を理解すること</li><li>• 四角柱の底面積と体積を求めること</li><li>• 数量の関係や法則などを文字式で表現すること</li></ul>	<b>数学B</b> (活用)	<p>□成果や改善が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• グラフから必要な情報を読み取ること</li></ul> <p>■課題が見られる内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 資料の傾向を的確にとらえ、判断の理由を数学的な表現を用いて説明すること</li><li>• 範囲の意味に基づいて表から必要な情報を読み取ること</li><li>• 事象を数学的に解釈し、成り立つ事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明すること</li><li>• 与えられた証明を振り返り、類似の場面で証明すること</li></ul>
--------------------	---	--------------------	--



### 学校における学習活動の改善方策例

- 関数関係の意味を理解し、日常生活の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べて、関係性を見出すことができるようにする。
- 帰納的な方法による説明や、演繹的な推論による証明の違いを理解させる。
- 複数の問題場面の類似性を考えさせたり、証明した図形の性質を基にして新たな性質を見出したりさせる。
- 問題を読んで、関係性を見出し、判断する場面を設定する。
- 様々な資料に触れさせ、必要な情報を選択したり、読み取ったことを根拠に考えさせたりする。
- 資料を整理して傾向を読み取り、それを基に判断できるようにする。また、判断の理由を説明できるよう話し合う場面を設定する。

### 学校の学習を生かした家庭学習の参考例

- ※ 図形の学習では、実際に紙で作って操作をして比べたり確かめたりしてみましょう。
- ※ 実生活の中での日常的な事象について、形や大きさ、位置の関係に気を付けて観察し、数学的に特徴をとらえてみましょう。
- ※ 自分の考えを数学的な表現を用いてノートに説明を書いてみましょう。
- ※ 問題を解決するために、数学を活用できないか考えてみましょう。